

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	免疫検査学 (Laboratory Immunology)		
ナンバリングコード	S20320	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 臨床検査学
単位数	1	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S008051	クラス名	-
担当教員名	松井 智浩		
履修上の注意、 履修条件	受講に際しては受け身にならずに教科書や関係する書籍を読み、予習・復習を行うこと。分からないことがあれば、自主的に質問するなどして必ず解決しておくこと。 臨床検査学コースの学生は必ず履修すること。		
教科書	最新臨床検査学講座 免疫検査学/輸血・移植検査学 第2版 (窪田哲朗他編、医歯薬出版株式会社)		
参考文献及び指定図書	臨床検査知識の整理 臨床免疫学 (医歯薬出版株式会社) 臨床検査技師国家試験過去問題集 (各出版社)		
関連科目	免疫学、輸血・移植検査学		

○基本情報		
授業の目的	免疫検査学では、本来の免疫学に加えて臨床検査のための診断技術に関する面が特に重要視されているので、免疫学的基礎知識と臨床検査への応用面について重点的に理解する。 1.抗原抗体反応の原理とそれに及ぼす因子、最適比について説明できる。 2.沈降反応・凝集反応の分類と応用性について説明できる。 3.感染防御やその診断方法を理解し、補体結合・溶解・中和反応について説明できる。 4.免疫反応のメカニズムや関係する疾患について説明することができる。 5.免疫疾患を診断するための免疫学的検査法について説明することができる。 6.免疫学的検査法に用いる検体の扱い方、保存法、検査データの読み方について説明できる。 7.腫瘍免疫の概念を理解し、腫瘍マーカーについて説明できる。	
	ヒトの健康を維持するための重要な免疫反応のメカニズムを理解し、この免疫反応が関係する感染症、腫瘍性疾患、アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全等の各種疾患について学ぶ。そして、これらの疾患の診断・治療のために必要とされる免疫学的検査法を、その反応原理である沈降反応、凝集反応、溶解反応、標識反応、免疫電気泳動法、イムノプロット法とともに理解する。さらに、免疫学的検査法に使用する検体の扱い方や保存法、検査データの精度管理法および得られた検査結果と臨床的意義(結果の読み方等)についても理解する。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	②幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	85点		15点
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
○定期試験(85%)、授業態度(15%)により総合的に評価する。 ○定期試験は、国家試験形式とする。 ○授業態度は、私語や居眠り、スマホ使用等は減点する。 ○試験結果は、後日個別に知らせる。				

○その他
質問に来る際は、必ず勉強した上で、具体的な質問をすること。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	免疫検査学 (Laboratory Immunology) 松井 智浩	授業コード	S008051
学修内容				
1. 抗原抗体反応① 沈降反応、凝集反応、溶解反応、標識反応について学習する。				
予習 シラバスの確認と教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。 約2時間				
復習 講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。 約2時間				
2. 抗原抗体反応② 免疫電気泳動法、蛍光抗体法、イムノブロット法、遺伝子検査について学習する。				
予習 配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。 約2時間				
復習 講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。 約2時間				
3. 感染症と免疫検査 梅毒や肝炎ウイルスなどによる感染症と免疫検査について学習する。				
予習 配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。 約2時間				
復習 講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。 約2時間				
4. 自己免疫疾患と免疫検査 関節リウマチや甲状腺疾患などの自己免疫疾患と免疫検査について学習する。				
予習 配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。 約2時間				
復習 講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。 約2時間				
5. アレルギーと免疫検査 主にIgEが関与するアレルギーと免疫検査について学習する。				
予習 配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。 約2時間				
復習 講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。 約2時間				
6. 腫瘍免疫と腫瘍マーカー 腫瘍免疫の概念と腫瘍マーカーについて学習する。				
予習 配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。 約2時間				
復習 講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。 約2時間				
7. 免疫不全症・血漿蛋白異常と免疫検査 免疫不全症・血漿蛋白異常における免疫検査について学習する。				
予習 配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。 約2時間				
復習 講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。 約2時間				
8. 免疫学的検査法に用いる検体の扱い方、保存法 免疫学的検査法に用いる検体の扱い方、保存法について学習する。				
予習 配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。 約2時間				
復習 講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。 約2時間				

○授業計画	科 目 名 担当教員	免疫検査学 (Laboratory Immunology) 松井 智浩	授業コード	S008051
学修内容				
9. 期末試験				
予習				
復習				
10.				
予習				
復習				
11.				
予習				
復習				
12.				
予習				
復習				
13.				
予習				
復習				
14.				
予習				
復習				
15.				
予習				
復習				
16.				
予習				
復習				